

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒710-0052 岡山県倉敷市美和1-1-1	
本票作成	部署名：施設部				
主たる業種	分類コード	83	業種名：医療業		
事業の概要	総合病院 病床数：1,161 床 職員数：3,152 人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	倉敷中央病院		倉敷市美和1-1-1	
	②	倉敷リバーサイド病院		倉敷市鶴の浦2丁目6-11	
	③	総合保健管理センター		倉敷市鶴形1丁目8-5	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 24 年度)			目標年度 (平成 29 年度)					
	29,351 t CO <sub>2</sub>			27,883 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 24 年度) の排出量					
	①	倉敷中央病院		26,349 t CO <sub>2</sub>					
	②	倉敷リバーサイド病院		2,513 t CO <sub>2</sub>					
	③	総合保健管理センター		489 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
			t CO <sub>2</sub>						
			t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容			原単位当たり排出量	
		温室効果ガス排出量	延床面積	原単位あたりの排出量	
	基準年度	29,351 tCO <sub>2</sub>	152,580 m <sup>2</sup>	192.4 tCO <sub>2</sub> /千m <sup>2</sup>	
	目標年度	27,883 tCO <sub>2</sub>	152,580m <sup>2</sup>	182.8 tCO <sub>2</sub> /千m <sup>2</sup>	
			t CO <sub>2</sub> / ( 千m <sup>2</sup> )	t CO <sub>2</sub> / ( 千m <sup>2</sup> )	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 24 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

・省エネ法の管理標準に基づき、エネルギー使用状況を一月単位に細かく把握しながら、省エネ対策に取り組む。  
 又、計画に盛り込んだ省エネ機器の更新 (高効率照明設備やトッランナー変圧器など) では、温室効果ガス排出量の削減効果が期待されるハード改善の、一段と効果的な削減方法を策定する。  
 今後とも、計画した措置を確実に実施すると共に、ソフト面にも力を入れ合理的な削減対策を検討し施策する。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

・平成18年度より院内に『省エネ委員会』（H25年4月度現在：委員人数23名）を組織し、省エネ・環境活動を続けているが、更に改正・省エネ法に準拠して、H22年度から法人全体の一体管理に移行して、より強力な体制で進めている。  
 ・本院の「省エネ（環境活動を含む）委員会」、分院である「リバーサイド病院」の「省エネ・ワーキンググループ」とが連携、情報交換をしながら、省エネ・CO2排出量削減を筆頭にした病院全体の環境保全活動を推進している。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
倉敷中央病院	＊配電用変圧器（3台）をトップランナー型へ更新済み エネルギー使用合理化実績 16 t-CO2 削減 ＊高効率照明器具への更新（300台） （一部、LED照明への更新） 11 t-CO2 削減 ＊誘導灯（60台）を高効率機器へ更新 6 t-CO2 削減 ＊大型冷却塔×4台の統合化による合理化更新 103 t-CO2 削減
倉敷リバーサイド病院	＊中央機械室の排気ファンのインバーター化 1 t-CO2 削減 ＊屋上の看板灯のLED化 1 t-CO2 削減

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
倉敷中央病院	＊KCH 病棟冷/暖房用送水設備更新（インバーター化） 26 t-CO2 削減 ＊KCH エレベーター更新に伴うインバーター化（4台） 52 t-CO2 削減 ＊KCH 配電用変圧器（2台）をトップランナー機器へ更新 18 t-CO2 削減 ＊KCH フリークリングシステムの採用 65 t-CO2 削減 ＊KCH 高効率照明器具への更新 300台 5 t-CO2 削減 ＊KCH 照明監視盤（エミット・フル2線インターフェースパネル）の導入 4 t-CO2 削減
倉敷リバーサイド病院	＊KRH エレベーター更新に伴うインバーター化（3台） 26 t-CO2 削減 ＊KRH 配電用変圧器（3台）をトップランナー機器へ更新 5 t-CO2 削減
総合保健管理センター	＊KRH 高効率照明器具への更新 150台 5 t-CO2 削減 ＊保健C 高効率ヒートポンプチャラーへの更新 （ガス焚き吸収式冷温水発生器→高効率HPチャラー）

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	有	太陽光発電設備設置済み（H22年） 10kW 太陽光発電設備設置済み（H24年） 48kW
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ① 年に2回実施の、省エネ委員23名による『省エネ委員会』の開催。
- ② 年4回実施予定の省エネパトロール。（夏季3回、冬季1回）省エネ委員会委員による巡視。
- ③ 環境省による全国的国民運動に呼応する、院内「ライトダウンキャンペーン」を実施。（夏季に3回）
- ④ 夏期期間中（7月下旬～9月上旬）のお昼前、全職員対象に「省エネ、院内ライトダウン」の「実施呼び掛け放送」を平日の毎日、実施。（約2か月間）
- ⑤ 職員向け広報誌『皆春』にて、省エネ&3R活動啓発記事を2回/年以上掲載企画。
- ⑥ 倉敷中央病院BEMSデータを基にした『省エネミーティング』実施。（6回/年）  
別途、省エネ委員会・事務局ミーティング開催。（10回/年）
- ⑦ KMC（TQC）活動による『グリーンカーテン（緑のカーテン）』の育成による日光遮蔽。これにより冷房負荷軽減が期待でき、CO2排出量の低減につながる。